

10月1日の新町誕生により、
現会見町役場は「南部町役場天萬庁舎」
となります



西伯町・会見町合併協議会
協議会だより



きずな



両町のきずなを大切に、みんなで合併を進めよう!

18号

2004年7月

南部町公設消防団は八分団に編成

第二十七回協議会開催

六月十六日（水）午後一時三十分より、西伯町役場会議室において、第二十七回協議会が開催されました。

人間ドック受診は公見町の例による。

国民健康保険加入者を対象に実施している人間ドック検診は、公見町の例により三十五・四十五・五十五・六十五歳の希望者及び三十歳以上の前年度無診療者のうち希望者で、年間概ね百五十名とし、国保会計の健全運営



の範囲内とすることとしました。

準要保護児童の給食費は全額補助

要・準要保護児童援助費については、学校給食費の補助額が両町で異なっており、十月一日より公見町の例により全額を補助することとしました。

消防団は八分団に編成

新町における公設消防団は、役場職員で構成する役場本部班、西伯町側の各分団を西伯第一から第四の四分団、公見町側の各分団を公見第一から第三の三分団とする八分団で編成することとしました。

南部町町章を募集

まちづくり委員会第二ステージ①小委員会にて協議され、決定された南部町町章候補募集要領の提案があり、作品を一般から公募する、また町章候補の選定方法については「南部町町章選定委員会（仮称）」が定める等の要領を決定しました。

募集の期間は、平成十六年九月十日までとし、応募先は西伯町・公見町合併協議会事務局宛で、郵送又は電子メール等により受け付けます。

最優秀賞一点を採用作品とし、賞金二十万円と副賞（南部町の特産品）、優秀賞を5点以内で賞金各2万円を贈呈します。

応募資格に規定は無く、また一人が複数の応募も可能です。たくさんのご応募をお持ちしております。

なお、応募する町章の要件・応募方法等詳しくは、別紙チラシ及び西伯町・公見町合併協議会ホームページをご覧ください。



協議会は傍聴できます



合併協議会は毎月開催しています。会議は公開を原則としており、どなたでも傍聴できます。

当日会場入り口において、会議開始時刻までに受付を行ってください。ただし、会場の都合により入場の人數制限をすることがあります。

協議会開催予定

第二十九回協議会
八月十八日（水）
午後一時三十分から
西伯町役場二階会議室

第一小委員会 町章候補募集要領決定

各小委員会を開催

第一小委員会は六月二十八日、第二小委員会は六月十七日及び七月一日、第三小委員会は六月二十四日及び七月三日、それぞれ会議等が開催されました。

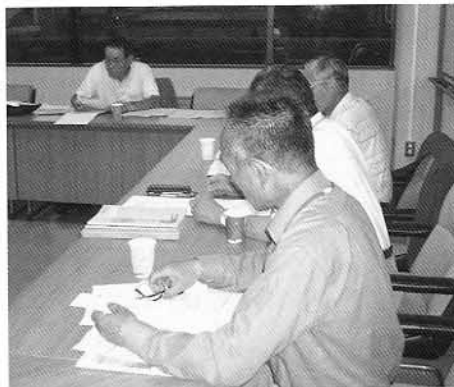
町章候補募集要領を決定

六月二十八日開催の第一小委員会においては、町章の選定において「南部町町章選定委員会（仮称）」を設置し、小委員会の委員及び住民代表をこれに参加させる。また住民アンケートを行い決定の参考とすることとしました。

各種宣言の制定では専門委員会を設置し、住民を委員に参加させること、町長・議会議員等の特別職には表彰制度は設けず、ボランティア活動者等を積極的に表彰することなどの意見交換が行われました。



(第1小委員会)



(第2小委員会)



(第3小委員会)

CA TV情報化は委員会設置が必要

専門家・学識経験者・公募委員などで構成し、広報・ホームページのあり方、CA TVの設置・運営・活用方法等、CA TV情報化の検討を行う委員会設置の必要性を議論しました。

また、公共事業については計画段階から住民参画が必要。学校校区の見直しは当面必要なし。行政評価制度は検討の必要あり、旧村規模程度の地域協議会の設置等について検討し、今後提案としてまとめていくこととしました。

ウォークラリーコースを踏査

第三小委員会は合併記念イベントとしてウォークラリーの開催を検討しています。

六月二十四日に西伯・会見両庁舎間の文化財等を見学し、七月三日には予定コースを実際に歩き、出発点を会見町役場、終点をブラザ西伯とする八・六キロメートルのコースに決定しました。

今後は実行委員会組織・終点ブラザ西伯でのイベント等の具体的内容を話し合います。



会見町役場前での掲揚式

「十月一日南部町誕生」
の懸垂幕を掲揚

七月五日（月）西伯・会見両町役場において、「十月一日南部町誕生」の懸垂幕掲揚式が執り行われました。懸垂幕は、新町が誕生する記念すべき日を、町民に広く啓発するため九月三十日まで掲げます。

まちづくり委員の思い



“新しい発想で 新しい町を”

まちづくり委員（第二ステージ）
中原由美子
（会見町宮前）

私は、町を自分の目で確かめたい。他人任せではなく、自分の意見を言っていきたいと思う。

新町でも会見町の良さを失いたくない。会見町に対する姿勢など良いところを拡大し、合併によりさらに良い町となってほしい。

両町の良いところをすり合わせ、悪い部分はあっさり切り捨て、新しい発想で新しい町をつくるという思いを持っている。

ドイツでは、どんな小さな町でも、銀行・店・郵便局など生活に必要なものは歩いていける距離に必ずあり、これからの町は、通院・買い物など年をとっても暮らせる町であってほしい。

子どもの声の聞こえ、人と教育を大切にしたい心が解放された緑豊かな町となってほしい。

新町が誕生するにあたり、まちづくり委員として参画させていただいています。

私は、両町の人がお互いの良い文化を大切にし、交流をして新町を盛り上げてほしいと思います。

これからの将来を担う若者の意見を聞き入れて、定住したいと思えるような活気ある町にし、町外の人もたくさん集まってくれる温かい場所となれば良いと思います。

自分達の町は自分たちで、少しでもお手伝いをして作り上げていきたいと思っています。

“人が集う温かい町”

まちづくり委員（第二ステージ）
野口 節子
（西伯町福成）



町の廃置分合を 総務省が告示

西伯郡西伯町及び同
郡会見町を廃し、その
区域をもって西伯郡南
部町を設置する。

その効力は平成十六
年十月一日から生じる
旨の総務省告示が七月
一日付でありました。
このことにより、南
部町が法的にもわが
国の制度に位置づけら
れたこととなります。

まちづくり委員の思い

南部町誕生まであと50日

平成16年8月12日で、新町誕生まであと50日となります。

みなさまの、ご支援をお願いします。



西伯町・会見町合併協議会だより きずな 2004年7月 18号

発行：西伯町・会見町合併協議会（TEL 48-3375 FAX 48-3376） 編集：西伯町・会見町合併協議会事務局

ホームページ：<http://www.saihaku.net/aimi/>

E-mail：otayori@sanmedia.or.jp

西伯町 8,128人（男3,892人 女4,236人） 会見町 4,123人（男1,946人 女2,177人）平成16年6月30日現在